

雪州会多与架

雪州会だより 第40号(平成24年)
東京壱岐雪州会発行



創立95周年記念号

壱岐市の郷ノ浦祇園山笠（7月28～29日）

東京雪州会は平成24年10月から
「東京壱岐雪州会」に名称を変えました



歴史と伝統を踏まえ未来志向で

東京壺岐雪州会会長 牧 山 康 敏

歴史から何を学び、未来に何を引き継ぐか。

雪州会創立95周年を迎え、歴史と伝統の尊さ、力強さに改めて深い感慨を覚えます。この伝統を1世紀近くにわたり引き継いでこられた先人達の熱情とご尽力に対し、会員の皆様と共に深甚なる敬意と感謝の念を表したいと思えます。

雪州会は1917年（大正6年）、壺岐出身者有志の発意により東京で創立。その年、ロシア革命が起こりソビエト連邦（ソ連）への道が開けたのです。かつて米ソ両大国として冷戦時代の世界を二分したソ連も、1991年に崩壊し70余年の歴史に幕を下ろしました。

私達の雪州会は今なお脈々と隆々と歴史を刻み続けています。もとより国家機構と親睦団体を単純に同一視することは出来ません。故郷に対する強い思いと、高い志が融合して今日の雪州会の歴史を築いたと言えましょう。

雪州会の対外活動も近年は幅広く多岐にわたってきました。従来の「東京雪州会」の名称ではこの地域の団体かハッキリしないとの指摘もありました。そこで名称に「壺岐」を入れて、壺岐の関係であることを明確にし、併せて伝統ある雪州会の名も残して名称を「東京壺岐雪州会」に変更した次第です。時代の変化に対応しつつ、良き伝統は維持していくことにしました。

翻って日本全体に目を向けると、政治は漂流し、その間隙を衝いて韓中露は領土問題で日本の主権を侵害。政治の安定なくして国益は守れないのです。さらに経済は停滞し、地域は疲弊。壺岐を離れた人達にとって故郷は心の拠り所です。その壺岐が少しでも活気を取り戻すよう私達は微力ながらお手伝いしていきます。その思いは今後も引き継がなければならないのです。
（経済ジャーナリスト・日本記者クラブ会員）

日本の元気を壱岐の島から 主要生活基盤も着実に整備

壱岐市長 白川 博一
全国離島振興協議会会長



東京壱岐雪州会創立九十五周年と記念すべき「雪州会だより第四十号」のご発刊を心からお慶び申し上げます。

会員皆様におかれましては、日頃より、ふるさと壱岐の振興発展のため、多大のお力添えをいただいておりますことに、深く敬意を表し心から感謝申し上げます。

さて、日本中を震撼させた東日本大震災から、一年半余りの歳月が経過いたしました、壱岐市で

は職員の派遣協力や義援金・物資の受付、災害ボランティアバスの運行など復興支援を行っております。未だ深刻な状況にある福島第一原発事故など、こうした災害は決して他人事ではなく、玄海原発に近接する本市においても、非常に危惧する状況にあり、今後も市民皆様の安全と安心、そして郷土壱岐を守るため、防災体制に万全を期してまいります。

さて、昨年は、様々な分野で壱岐市の将来を見据え、新たなスタートをきった年となりました。三月には、光ファイバー網の整備が完了し本市における情報通信網が格段に飛躍するとともに、壱岐市ケーブルテレビを開局し、市政情報をはじめ地域・各種団体の行事やイベントなど積極的に発信

しています。

教育面では、四月に四中学校体制がスタート、九月には壱岐市学校給食センターが完成し、将来の壱岐市を担う子どもたちのため、学校教育の充実を図ったところであります。

五月には、壱岐市福岡事務所を開設しました。壱岐の情報を発信できる事務所を福岡市に開設出来たことは会員皆様との連携を図る意味でも大変意義あることと感じています。今後も本事務所を拠点に各都市との交流を深めてまいりますので、会員皆様方にも積極的なご活用をお願いします。

そして今年に入り、一月に待望の壱岐市三島診療所を開設、四月に壱岐市クリーンセンター、壱岐市汚泥再生処理センターが稼働し、壱岐市における主要な生活基盤は、着実に充実しています。

このように、多くの分野で道筋を付けることが出来ましたが、人口の減少、雇用の確保など本市が抱える課題に、今後も全力で取り

組まなければなりません。

特に平成二十五年三月失効の離島振興法の改正、十年間の延長が、この六月に決定されたことは、非常に意義深いことであります。

航路運賃の引き下げ 離島活性化の起爆剤

現在私は、全国離島振興協議会会長、そして長崎県同協議会会長を拝命し、特に離島航路運賃のJ・R並運賃実現を国会議員、関係省庁に対し強く要望しています。

離島が抱える一番のハンデは、航路運賃であります。本年四月壱岐対馬博多航路に「フェリーきずな」が就航したことに伴い、一定の期間、基本運賃の2割引が実施されていますが、人流・物流ともにJ・R並運賃の実現が、交流人口の拡大や雇用の確保、産業経済の振興など本市をはじめとした離島活性化の一番の起爆剤になると確信しています。会員皆様にも、このことをご理解いただき、さらなるお力添えを賜りますようお願いしま

す。

また昨年は、辛亥革命百周年を迎えました。その指導者、孫文を支えたのが梅屋庄吉と壱岐出身であるトクご夫妻です。そのトクの功労を顕彰し、友好の証しとして、中華人民共和国から「梅屋トク像」をご寄贈いただき「支国博物館に

〈特別寄稿〉

「人・産業・地域」―輝く長崎県づくり 「しまは『日本の宝』戦略」で活性化を

長崎県知事 中村 法道



牧山会長はじめ東京壱岐雪州会の皆様には、日頃からふるさと長崎県の発展のため、一方ならぬお

設置させていただきました。今後、壱岐市の新たな魅力として、トクの功績を含め内外に発信してまいります。

結びに、東京壱岐雪州会の益々のご発展と、牧山会長様はじめ会員皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたします。

力添えを賜っており、厚くお礼申し上げます。

県では昨年、新たな「長崎県総合計画」をスタートさせ、「人が輝く、産業が輝く、地域が輝く長崎県づくり」を目指しているところであり、多様で独自の自然や歴史、文化などを有する本県の離島は、後世に残すべき「日本の宝」であるとの考えから、「しまは『日本の

宝』戦略」を掲げ、しまの活性化に取り組んでいるところであります。

離島振興法は10年延長 「国境離島地域」を振興

一方、来年3月に期限を迎えることとなっており、改正がなされることとなり、平成35年3月末までの10年間、延長されることとなりました。今後は、領土、領海や排他的経済水域の保全といった国境離島が果たす役割の重要性を引き続き強く訴えるとともに、国境離島地域の振興や定住促進のためのさらなる支援策の実現に向けて力を注いでまいります。

航路運賃の値下げを実施 交流人口・島内消費増も

また、皆様方のふるさと壱岐におきましては、今年4月に博多―壱岐―対馬航路に就航した新しいフェリーの建造を国の交付金を活用して県が支援することで、運賃

の値下げを実施することができました。併せて、「一支国博物館」や「原の辻遺跡」を中心とする歴史が息づく島の魅力を活かしたまちづくりなど、島民の皆様の負担軽減と交流人口や島内消費の拡大に全力で取り組むことといたしております。

本県といたしましては、引き続き総合力を発揮し、厳しい時代の荒波をしっかりと乗り切って、未来を切り拓いてまいりますので、長崎県の心強い応援団であります東京壱岐雪州会の皆様におかれましては、ふるさとでの発展のために、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京壱岐雪州会の限りないご発展と、会員皆様の今後益々のご健勝、ご活躍を祈念いたします。ごあいさついたします。

〈特別寄稿〉

壱岐の島への憧れ― 博物館・温泉など

長崎県人会会長・三菱重工相談役 相川 賢太郎



私は長崎市に生まれて三菱長崎造船所に勤務し、60年を長崎に過ごしましたが、未だ壱岐の島を訪ねたことがありません。五島・対馬・隠岐・佐渡・伊豆大島・そして九州島まで訪ねているのに何故か？ それは話題に上るものが無かったからなのでしょう。

然し平成二十二年に「一支国博物館」が完成以来、東京でも折に触れて壱岐の島が話題に上るよう

になりました。魏志倭人伝に出て
いる「一支国」が、「壱岐の島」で
あることを改めて認識し、是非、
壱岐を訪ねなければならぬと思
い始めました。

そう思っていると、温泉もあり、
よい旅館もあり、壱岐牛も魚以上
においしいというような話が次々
に伝わってきます。「雪州会だよ
り」を見ると、長崎市伊良林小学
校の生徒たちが「一支国博物館」
を見学したと書いてありました
が、子供の記憶は何十年も消えま
せんので、長い、広いPRになる
ものと喜んでおります。私も今年
中に壱岐の島を訪問したいと憧れ
ています。

HP作成で会の存在PR！ 壱岐・対馬の連携も緊密に

福岡壱岐の会会長 幡鉾 賢輔



時代の変
化や戦争等
の困難を乗
り越えて、

東京壱岐雪

州会が95周年を迎えられおめでと
うございます。心からお祝い申し
上げます。さらに100年、20
0年に向けて飛躍して下さい。今
後も大先輩として、ご指導・ご支
援の程よろしくお願い申し上げます。

福岡地区には壱岐出身者が10万
人以上いるのではとの説もありま
すが、実体がかみません。弊会
の存在や活動状況が十分PR出来
ないのが悩みで、会報等従来の広
報では限界を感じます。メディア
の時代に対応するため、壱岐商高
の生徒さんに若者の感性を活かし
たホームページを作ってもらいま

した。また質量とも発展途上です
が、「福岡壱岐の会」で検索し覗い
て見て下さい。

会員相互の親睦・交流の場の設
営は、積極的に実施していますが
人口減等課題の多い壱岐の活性化
のために、近くに住んでいる我々
ができることは、観光客を増やす
お手伝いです。壱岐に行ってみた
いという気持ちにさせるため、壱岐
の魅力をどう伝えるかに腐心して
います。離島として同じ問題を抱
えている対馬との連携も大事と思
います。福岡地区の壱岐と対馬の
出身者が、もっと協力して智慧を
出しあうため、福岡対馬会と相談
し、第一歩として会員相互のふる
さと訪問を今春実施しました。こ
れが隣の島かと驚くほど、壱岐と
対馬は違いが沢山あります。対馬
は面積は壱岐の約5倍ですが、平

地がほとんどなく、山がそそり立ち、自然の造形の不思議さを感じます。鎌倉時代中期から幕末まで600年間宗家が国境の島として統治したため、その歴史的遺物も多数あり、弥生時代中心の壱岐の

歴史との違いも顕著です。この地形と歴史の違いを大きな目玉として、福岡対馬会と協力し、観光客の誘致に結びつけたいと思います。東京壱岐雪州会のご支援・ご指導をよろしくお願いします。

「壱岐の素晴らしさ」もつと発信したい！

行政・島民一体の交流人口拡大に期待

関西壱岐の会会長 立石 英隆



東京壱岐雪州会の皆様こんにちは！ 玄界灘の宝島・

流を嬉しく思います。

ふるさと壱岐を離れて働き生活の場とする人々は全国に居られ、現在の壱岐市の人口を超えていると思うが、私達にとって生まれ育った壱岐は懐かしく、ふるさと壱岐への想いは強い。

特に関東圏は東京壱岐雪州会はじめ地区会・同窓会も多く、関西等と比べ格段に豊富な人脈で活躍されており、毎年の総会等での交

ふるさと壱岐でも島外からも参加できる各種スポーツ大会や壱岐神楽・花火大会・文化イベント等も実施され、一支部博物館への来館者は順調に伸びているのに、壱岐全体への観光客が伸びないのは何故だろうか？ 全国どここの観光地も官民一体となり、地域を挙げて必死で諸施策を実施しており、官民協力による努力の差が結果として数字に表れる現実の厳しさがある。

壱岐は古代や中世の歴史遺産・風光明媚な自然遺産・美味しい山

の幸、海の幸も豊富で、日本の離島の中では大変恵まれた島だと思う。今年も壱岐旅行を薦めて旅した知人の反応は、ホテル従業員の接遇・料理等好評でほっとしたが、宿泊先でまだ差が大きいようだし、観光業界だけでなく行政・島民一体の観光客（交流人口）拡大に向けた、きめ細かな戦略展開を期待したい。

私達も一人でも多くの知人友人に、壱岐への旅を推奨し、壱岐の素晴らしさを体感して頂き、子供や孫を連れてリピーターになって貰うことが壱岐の産業振興・活性化になると信じ努力したい。

東京壱岐雪州会95周年を祝し、益々のご隆盛と会員の皆様のご活躍を祈念いたします。

幅広い交流を通じ壱岐を知ってもらおう 全県の「故郷大県人まつり」等にも参加

東海壱岐の会会長 永田 強



東京壱岐雪州会の創立95周年の記念すべき節目の年を

迎えられた事に東海壱岐の会を代表して心からの祝意と敬意を表します。

先輩諸氏が高い志を胸に故郷を後にして、大正時代の東京で学業と仕事に熱い血潮を燃やされた姿

が偲ばれます。雪州会を発足された時代の交通手段は今になれば信じ難いほどの状況だったと思います。先人の熱い思いを継承してこられた現会長の牧山様はじめ歴代の会長、役員の方々、支えてこられた会員の皆様を改めて尊敬せずにはいられません。

さて私共の東海壱岐の会は、歴史も浅く、会員の数も少なくて貴会と同じ運営は出来ません。その

様な中で会の方針を「幅広い交流を通じて壹岐を知ってもらう」事を柱にしています。東海地区には沢山の故郷の会がありますが、毎年9月第二の土曜日と日曜日に開催される「故郷大県人まつり」は全国のはば全県が参加します。長崎県人会と東海壹岐の会が共同で参加して宣伝活動と焼酎販売をしています。この様に色々の催し事や会合に参加する事で交流が広がります。

年末にはオール九州懇親会がありこの様な会にも積極的に参加をしています。会員の親睦会は年明けの新年会、秋の行楽会などを行いこの様な会にも壹岐の会の正会員以外の方々に参加の呼びかけも致します。賛助会員と言う名称にさせていただいていますが、会の大きな活力となっています。最近では8月25日に役員の提案で一支国博物館、埋蔵文化センターの入館者30万人記念として会から瀬戸焼で「幸福の器」を贈呈いたしました。同じ様に35万人

目の方にも贈呈いたします。其の他にも様々な活動をしてはいますが、その効果で少しずつではありますが、会の存在を頼りにされ、お役に立てる事が多くなりました。これから貴会を始め関西、福岡の会の皆様のご指導とご協力を頂きながら故郷のお役に立てる会にしていきたいと思ひます。今後とも「結い」の心で宜しくお付き合いを頂きますようお願い致します。そして、95周年を迎えられた東京壹岐雪州会が100周年に向かい益々のご発展とご活躍されることを祈念申し上げます。



はらほげ地蔵

壹岐・諏訪・伊東・秦野の4市 災害時相互応援協定書を締結

昨年3月の東日本大震災を受けて全国各地では、災害時における広域連携の機運が高まっています。そうした中で壹岐市は姉妹都市である長野県諏訪市の協力を得て、壹岐市、諏訪市、静岡県伊東市、神奈川県秦野市の4市による「災害時における相互応援に関する協定書」に8月15日に諏訪市で調印。壹岐市ではこれを機に、まだ姉妹都市関係にはない伊東市、秦野市とも普段の交流を深めたいとしています。

この協定は諏訪市の山田勝文市長が姉妹都市関係を結んでいる伊東、秦野の両市に働きかけて実現したもの。協定書では、災害対策基本法に基づく大雨災害などが発生した際、被災市だけでは対応が難しい場合、被災市は他の3市に協力・応援を要請できるようにしています。

応援を要請された市は生活必需品の提供や救護、救助に必要な車両などの提供も出来るというものの。4市では緊急時の応援が円滑に出来るように、年1回、地域防災計画資料などを相互に交換することなども盛り込まれており、有意義な相互協定といえます。

最近全国各地で集中豪雨災害や地震が毎年のように発生し、壹岐市では平成22年に1時間雨量が100mmを超える集中豪雨が発生、大きな被害に見舞われたほどです。

壹岐市総務課によると、諏訪市での調印式に出席した中原康壽副市長は「今回の応援協定の締結により豪雨等災害発生時にはそれぞれの市民皆様の安全確保等が更に図られ、非常に意義深く感じています」と挨拶。これによって4市の絆が強まり、普段の交流活発化にも役立つと期待されます。

〈特別企画〉

〈雪州会をリードした歴代会長〉

高邁な志と強い郷土愛で

雪州会の発展に尽くす

上京して実業家に

▽初代会長 三富 道臣翁

(1856～1937 郷ノ浦町渡良会出身)

沓岐石田郡長を経て上京。金融業「三功社」を設立し、実業家の道に。1917年に沓岐出身者の同志と一緒に親睦団体「雪州会」に参画、初代会長に就任。愛息の三富朽葉は詩人として知られる。

「電力王」と称され日本経済発展の礎を築く

▽2代目会長 松永 安左工門翁(終身会長)

(1875～1971 石田町印通寺出身)

「電力王」「電力の鬼」の異名を持つ日本を代表する実業家。戦争に反対して一時実業から身を引くも戦後の昭和26年には9電力体制の確立に

奔走。時の連合軍最高指令官マッカーサー元帥や吉田茂首相を相手に渡り合い、新電力体制を実現。電力の安定供給を通じてその後の日本経済発展の原動力となる。

特に戦後は政財界に隠然たる影響力を持ち所得倍増計画で有名な池田勇人首相や永野重雄ら大物財界人も翁を慕った。「自由主義」競争を信念として官僚嫌いでも有名。慶應義塾大学に学び福沢諭吉の薫陶を受ける。英国の思想家トインビーの「歴史の研究」を翻訳し文化面でも貢献。「耳庵」の号で茶人として知られるほか絵画や古美術・書などの収集でも有名。戦後に埼玉から移り住んだ小田原市や故郷沓岐石田町の「松永安左工門記念館」に多く収蔵されている。(写真中央が松永翁、右が眞鍋翁「わが人生は闘争なり」より)



中央が松永翁、前列右端が眞鍋翁、後列右端が松坂翁
(「わが人生は闘争なり」=教文出版より)

芭蕉の研究や普選運動で活躍

▽3代目会長 眞鍋 儀十翁

(1891～1982 芦辺町箱崎出身)

故郷での代用教員を経験して上京し政界に。戦前戦後に東京から衆院

議員に6回当選。明大弁論部で鍛えた論客で鳴らし普選運動でも活躍。松尾芭蕉の研究者として知られる。芭蕉に関する多くの資料を1981年に地元江東区に寄贈し「江東区芭蕉記念館」が完成。1973年に「雪州会だより」を創刊。題字は翁の筆による。1971年から8年間雪州会会長。

松永翁の薫陶受け東北電力副社長も

▽4代目会長 白川 応則氏

(1895～1998 勝本町鯨伏出身)

松永安左エ門翁に師事し電力業界で活躍。戦後の9電力体制の発足に伴い東北電力副社長に就任。技術畑出身で技術面から同社管内の電力安定供給に尽力。杵岐の発展にも強い関心を示し、助言も度々行う。杵岐は日本と大陸とを結ぶ要衝の地にあり、その発展を常に気にかけた。1997年から6年間会長。

軍隊を経験し戦後は建設関連に

▽5代目会長 長岡 元氏

(1906～1986 郷ノ浦町柳田出身)

大学卒業後、海軍主計中尉・深永貞吉氏(勝本町出身)の勧めで海軍省に入る。戦時中は海軍司政官として南方戦線に赴く。戦後は建設省、

住宅金融公庫、道路公団などの要職を歴任し、活躍。幹事長を経て1986年に雪州会会長に就任するも、志半ばで病に倒れ、約1年の短期間に終わる。

作詞家として古賀政男らと組む

▽6代目会長 松坂 直美氏

(1910～2002 芦辺町深江出身)

作詞家として活躍し多くの名曲を作詞。日本詩人連盟副会長など歴任。作曲家古賀政男らと組んで活躍。また松永安左エ門翁の伝記「わが人生は闘争なり」(香椎出版)を著し、松永翁の波乱の生涯を描く。その後、教文出版で同著書を再出版し、雪州会では2004年に杵岐の中学・高校などに寄贈。1989年から5年間雪州会会長。

故郷への思い強く4人の会長支える

▽7代目会長 後藤 罔丸氏

(1919～2009 芦辺町瀬戸浦出身)

故郷杵岐に対する思い入れは人一倍。3代目の真鍋会長から6代目の松坂会長まで4人の会長を幹事長として支える。杵岐出身の彫刻家の故小金丸幾久氏が晩年に心血を注いで制作した「少弐資時公」(元寇襲来の際に杵岐で奮戦した19歳の武士)の銅像制作や杵岐市芦辺港での建立に

も積極協力。1994年から5年間雪州会会長。

アイディア生かし相次ぎ起業

▽8代目会長 立石 公博氏

(1932) 郷ノ浦町志原出身

1965年に神田神保町で通信販売コンサルティング業を立ち上げ、67年通信教育事業を主業務の「教文出版」(株)を設立し全国展開する。更に97年には内外の識者・著名人らを講師とする「講演CD・カセット」を制作・販売する(株)「暦日会」を設立。1999年から3年間会長を務め、現在名誉会長。

技術評論で活躍し著書は80冊以上

▽9代目会長 森谷 正規氏

(1935) 石田町出身

日立造船や野村総研を経て技術評論家となり、技術比較論などで活躍。放送大学教授を長く務め現在は同名誉教授。著書は技術・産業関係中心に80冊を越え、今なお旺盛な執筆力で年間2〜3冊のペース。東大工学部卒で政府関係の審議会や委員会委員も歴任。毎日や日経など新聞の書評も担当。2002年から4年間会長。現在名誉会長。

多くの要職兼ね東奔西走の重鎮

▽10代目会長 山内 賢明氏

(1932) 郷ノ浦町志原出身

雪州会には昭和26年の第2代松永会長時代からの参加で今や重鎮。長崎県酒造組合会長や長崎県人クラブ(東京)理事長など多くの要職を兼ね東奔西走の毎日。本業の焼酎造りも玄海酒造会長として大所高所から経営を俯瞰。また日本酒造組合中央会の需要開発などでも活躍。沓岐と雪州会のパイプ役も。2006年から4年間会長、現在名誉会長。

取材経験生かし幅広い人脈築く

▽11代目会長 牧山 康敏氏(現)

(1938) 芦辺町箱崎出身

新聞社で40年近く取材活動。産業界、財界人、中央官庁、国会、金融など幅広く担当し多くの人脈を築く。移動特派員としてアジア・豪州、欧米でエネルギーや経済問題で国際機関の要人にインタビュー。1979年には東京サミット取材。現在は日本記者クラブ会員で内外要人の会見に出席。幹事長8年を経て2010年から会長。

雪州会 約1世紀の歴史の重み 壱州人にとっても大きな励みに

壱岐市観光協会会長 長嶋 立身



本年、創立95年の節目の年を迎えること

に、深甚なる敬意を表すとともに、心からお慶びを申し上げます。

約1世紀に亘る歴史は、多くの壱州人の心の支えとなり、九州魂の交流の場となり、はたまた壱岐からの色々な関東での全国大会出場時の多大なご支援が、大きな励みとさせていただきました歴史は、大変な重みがあると確信いたします。誠に改めてとうござい

ます。さて、昨年の東日本大震災、本年の北部九州地方をはじめとする大水害と長引く景気の低迷に、追い討ちをかけるがごとく大きな自

然災害が続いておりますが、今夏の壱岐は梅雨明け後の晴天に恵まれ、フェリー「きずな」の就航と併せて夏型観光地としての賑やかさがありました。また今年は初夏から夏にかけて、マスコミ関係の取材が多くあり、特にテレビ局の取材が多かったことは、知名度が低い壱岐にとりまして、大変有難いことであります。

TVの取材が増え 壱岐の知名度向上

さて、本年壱岐市により壱岐市観光振興計画が策定をされまして、その計画に基づき、年次ごとに実行をして行くわけでありますが、その手始めに島内の観光関係組織のワンフロア化、並びに組織の一本化に取り組んでおります。

基本は、窓口を一本化して情報の発信並びに情報の共有をすることにより、お客様に対しての迅速かつより良いサービス提供体制の構築であります。究極は、責任ある観光関係団体としての組織の法人化であります。越えなければならぬ課題はありますが、成し遂げて行かなければなりません。

雪州会だよりが届きます頃には、観光協会の事務所は郷ノ浦町本村触683番地2（旧市役所本館）へ移動しております。郷ノ浦港フェリーターミナルの案内所はそのままとなります。

今年は「古事記」編纂1300年の記念すべき年で、記念イベントが国内外で有名な芸術家が集い開催されます。また10月25日から29日までの5日間、5年に1度開催される「第10回全国和牛能力共進会」が佐世保市を主会場に、長崎県で開催。壱岐牛の絶好のPRの場であり、全国から多くの関係者や応援者が集いますので、観光振興にも大きな影響があり、全島

民あげて歓迎色を出さなければなりません。先程述べましたが、このイベントなどを通して、更なる知名度を上げることが大事であります。

本年の外国からの大型客船寄港予定が、一番多いのが今年も博多港であります。このように全国一を誇る博多港のすぐ近くの壱岐でありますので、この立地条件をいかに活用するかが、私どもに課せられた課題でもあります。

振興計画に基づき、内も外も、ソフトもハードも改善、改革をしなければならぬ過渡期であります。観光協会の役員をはじめ会員ともども一丸となって、取り組んで参りますので、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、謹んでお願いを申し上げます。

おわりに「東京壱岐雪州会」の益々のご隆盛と牧山会長様をはじめ、会員のみなさま方の益々のご壮健にてのご活躍をご祈念申し上げます。

名称変更で思う「東京」の意味

東京沓岐雪州会 名誉会長 森谷 正規



雪州会の新しい名称についてですが、私は、東京雪州会

の「東京」はとっただいいいのではないかと考えていました。関西も東海も九州も、〇〇雪州会とするのを止めて、今では雪州会を名乗るのは本家の東京だけになったので、由来がある元の名前に戻すのがいいと思ったのです。

ところが1年あまり前に、その考えを変えました。というのは、日産自動車の創業時に入社されて、米国で大活躍した片山豊さんの業績を本にまとめる仕事を手伝って、「東京」の意味を改めて知ったからです。片山さんは19

54年に東京モーターショーを創設された方ですが、当初は「全日本自動車ショウ」でした。日本全体のショーだからそうすべきだと決まったのですが、片山さんは、東京モーターショーにしたかった。

これから日本は世界に自動車を伸ばしていくのだが、「日本」より「東京」の方が世界にはよく通じるというのです。確かに、パリ・コレ、ベルリン・フィルなど首都を頭に付ける方が、強い印象を与えます。

東京沓岐雪州会の「東京」は、日本の「東京」ではなく、世界に向けた「東京である」と考えましよう。

学生で初参加―偉大な松永翁の存在

東京沓岐雪州会 名誉会長 山内 賢明



雪州会との出会いは昭和26年沓岐高卒業後、上京し、

叔父から雪州会のことを聞き、当時世話役をされていた長岡元氏に、学生の身で参加したい旨伝えて参加したのが始まりです。会場は明治記念館。館長は渡良出身の呼子丈太郎さんでした。学生は無料、料理は高膳付きの和食。

松永翁は和服姿で、出席者は必ず翁へ挨拶に行ったものです。当時の僕は翁の偉大さを余り知らず、翁の本当の偉大さを知ったのは社会に出てからのことです。

その後、日本経済が拡大発展するにつれて、各地で古里の会が盛んになりましたが名称もバラバラでした。そこで名称問題について

触れておきたい。福岡、近畿地区から福岡雪州会、近畿雪州会にしたいので「雪州会」の名称を使わせて欲しいとの要請があり、それを受けて雪州会は東京雪州会に名称変更したのです。その後、福岡沓岐の会、関西沓岐の会、東海沓岐の会へとそれぞれ名称が変わり現在に至った経緯があります。

一方、東京雪州会は近年、長崎県下の会合を始め対外活動も盛んになっていきます。その際、「東京雪州会」ではどの地域の集まりなのか不明との声も聞かれるようになり、今回「東京沓岐雪州会」に変更して「沓岐」を名称の中に明確に示したわけです。

ところで私は第10代会長に推挙され2期4年間務めました。その間、90周年記念総会では牧山幹事長（現会長）始め多くの役員の方々

のご協力により地元壱岐を始め各地区から300人のご参加をいただき盛大に行うことができました。会長時代の良き思い出であり、感謝しております。また壱岐市長や壱岐の各団体、県関係者、各地区壱岐人会トップが壱岐の活性化について一堂に会して意見交換す

るする場も設定、平成21年と22年に開催（今年も開催）出来たことも意義深いことだと思っております。東京壱岐雪州会が創立100周年に向けて更なる発展をするよう祈ります。

松永翁の言葉を噛み締めて

東京壱岐雪州会 顧問 坂江 博見



東京壱岐雪州会の創立95周年に当たり、この記念すべき慶事を寿ぎたいと存じます。私が雪州会に初めて参加したのは昭和26年のことです。当時の会長は第2代松永安左エ門翁でした。明治記念館で開かれた総会に山内賢明さん（現名誉会長）らと出席しましたが、私たち2人は一番の若造でした。

会を通じて松永翁がよく言われた言葉として「お世話になった人には必ずお礼の返事を出すこと」「常に故郷を忘れないこと」など数多くの至言を思い出します。また「君達若い者は自分の思ったことをハッキリ言いなさい」と直接、励まされたことも記憶に鮮明に残っています。東京壱岐雪州会も近年は積極的に活動しており喜ばしいことです。これからは若い後輩の皆さんが出来るだけ多く参加して会を盛

り上げて欲しい。松永翁も言われたように故郷を忘れずに大事にしてもらいたい。故郷を忘れるようでは仮に成功したとしてもその価

値は大きく下がると言いたい。雪州会の一層の発展を祈念しています。

表紙の郷ノ浦祇園山笠

江戸時代から続く275年の伝統ある行事。郷ノ浦町に限らず壱岐市民に広く親しまれる夏の風物詩。今年は7月28、29の両日行われ、勇壮に町を練り歩く祇園山笠に島内外の多くの見物客で賑わったという。

撮影にご協力いただいた長嶋立身壱岐市観光協会長によると、今年はTBSの「もてもてナインティナイン」というテレビ番組の撮影もあり、一段と盛況だったとのこと。こうした郷土の伝統行事はいつまでも大切に続けてほしいものです。



モンゴル駐日大使を壱岐ご案内して TV取材班も同行し大使自ら解説も

東京壱岐雪州会顧問 竹富 鉄一



平成24年
8月27、28
日の2日
間、壱岐の
元寇の役の
遺跡、タナガオ神社、壱岐神社等
をご案内しました。

フルバータル・モンゴル駐日大使は壱岐での元寇の役720年祭にも参加されています。この度は駐日特命全権大使に再任され、壱岐国ルネッサンスで元寇の役の犠牲者の慰霊・鎮魂を壱岐国一宮天手長男神社で体験され、その情報を基に、自由化されたモンゴル国の歴史見直しの一環として大変重要な意味を持っていると言っていました。この度はプロの取材陣を引き連れて、大使ご自身が解説者としてテレビ番組の制

作に当たられました。

今回の大使のご訪問は非公式で、壱岐国ルネッサンスに関係した壱岐人3人のうちの私に要請がありました。私はフルバータル大使から「次回壱岐を訪問するときは取材チームを連れて行きますのでよろしくご協力をお願いします」と言われておりました。遂にその時が来たわけです。

非公式訪問とはいえ、モンゴル国の特命全権大使です。ここは、なんとしても壱岐市長との交流を願うべく、壱岐市観光協会長に相談いたしましたところ、市長は夏休みハイ・シーズンで大変多忙なスケジュールで対応はできないかもしれないという情報をいただきました。要請するのであれば正式な文書が必要と言われ、急遽要請

書を書いた次第です。

今年が日本・モンゴル外交関係樹立40周年記念の年でもあり、夕食を共にしながら壱岐島民の歓迎の誠を捧げるお言葉をいただきました。出席者は最小限にし、諸般の事情を考慮して、参加者は会費制で実施。結果は大変和気藹藹とした雰囲気夕食会は大成功でした。

「感謝・関心・希望」に感動

その夕食会での大使は3Kで語られました。感謝、関心、希望。出席者一同大変感動いたしました。そのお言葉は、私がモンゴルを2度訪問し、国会議長を表敬訪問した時のオユン国会副議長のお言葉にありました。

希望は経済成長に本気で立ち向かうモンゴルの日本への期待、また日本は無限ともいわれる資源国モンゴルへの期待です。そしてご一行の取材27日は芦辺港（梅島壱岐牛昼食）↓支国博物館↓天手長男神社正式参拝↓御手洗水の滝で

（弘法大使⇨長岡秀星氏の原点）
↓猿岩↓夕食会。28日は芦辺港少
式公銅像参り↓壱岐神社正式参拝
↓昼食（豊月寿司）↓千人塚二箇
所↓かくれ穴↓聖母宮⇨上陸地↓
郷ノ浦祇園祭準備見学↓海水浴場
↓フェリー見送り↓次の訪問地鷹
島（唐津港）へ。

壱岐神社には大使の申し出により外交関係樹立記念植樹として「榎の木」移植を計画中です。



中央が大使、左端が竹富氏⇨平成24年の御手洗水の滝で

企画（がんばってまーす）

トヨタを経て昨年システム会社設立 松永翁ゆかりの地・埼玉志木で創業

（株）アサヒ企画 代表取締役 立石 義昭



昨年の春、私の母校・志木市立箱崎中学校の閉校記

念誌「翠巒」が実家から届けられました。地元の新聞「志木日報」には最後の卒業式が掲載され、嬉しい事に卒業証書を片手に堂々と体育館を歩く兄の息子（3男）昇平の姿が写っておりました。

記念誌には箱中64年の歴史の中に幼き頃の両親の姿もあり、1頁めくるごとに潮の満ち引きの音が聞こえて来るかのように、ゆっくりと故郷の記憶が蘇ってきました。

私は志木市芦辺町箱崎江角触で

農家の3男として生まれました。経済面で両親を助けたいと考えて島を出る決意をし、働きながら学べる愛知県トヨタ工業学園（科学技術学園高等学校）に進学しました。

15歳の門出に多数見送り トヨタで品質評価を学ぶ

15歳で身長146センチの小柄な私を心配しながらも、両親、兄弟、同級生、野球部の後輩達が見送りに駆けつけてくれました。芦辺港の堤防を走り船が見えなくなるまで手を振る同級生に、子供ながらとても感動したことを昨日の事のように思い出します。

トヨタ工業学園卒業後は、トヨ

タ自動車で品質保証部の一員としてトヨタ生産方式を学びました。そして、トヨタグループ全国の生産工場を回りながら品質評価を行い、テストドライバーとしても走行評価を行いました。

このような仕事が5年ほど続き、その後は海外の品質評価のため北米、英国、トルコ、南アフリカそれぞれの工場を回り、忙しい日々を過ごしていました。この時代は私にとって、まさしく「動の時代」と受け止めています。

30歳にして意を決し、トヨタ自動車を退職しました。縁あって、東京のIT業界で半導体の設計・生産の仕事に就くことが出来ました。主に会社内のデスクワークの時間が多く、会議・打ち合わせの日々でしたが、職場を含め内外にわたって多くの方々と人脈を広げることが出来ました。

この職場も15年続けられたことを「静の時代」ととらえ、いよいよ「起」の時を感じ、昨年、株式会社アサヒ企画として独立致しま

した。事業内容は、半導体（LSI）設計の請負、LSIテストタイミングシステム（ソフト開発）請負、半導体設計・開発、製造及び販売を主に行っております。優秀な社員8名は半導体（LSI）の設計を中心に活躍しております。

システム開発支援事業の内容としても、お客様の開発体制と一体となりシステム構築のための開発支援の提供をしております。現段階では介護・金融商品・不動産業務等システム開発の業務案件を頂いております。今後、当社としまして今までの「縁」を大切にしながら『ネットワークビジネス』のさらなる拡大に努めて参りたいと思っております。

今年実家へ帰った際、母親から「雪州会だより」を初めて見せてもらいました。「雪州会会長の牧山さんは、私の箱小中学校の同級生なのよ。『私は元気です』と伝えてください」と、託されました。母の思いを伝えたく、お忙しい牧山会長に何度も連絡させていただき

ました。そして、東京駅前の八重洲でお会いすることが出来ました。母の同級生ということもあり、とても懐かしく感じたことでした。

その時、東京雪州会第2代会長の松永安左エ門翁の銅像が埼玉県志木市にあることを教えて頂き、早速、慶応義塾志木高校の敷地内にある松永翁の銅像（写真）を拝見させていただきました。松永翁の銅像のおひざ元の地にアサヒ企画事務所を置けたことに、何か不思議な縁を感じております。

壱岐人の誇りを胸に： 故郷発展に貢献したい

振り返れば15年前の転職当時、母は仕事中にくも膜下出血で倒れ大手術となりました。

そして一年後には記録的豪雨が九州北部を襲い、壱岐の実家は土砂崩れで全壊するという災害に遭いました。両親と長男夫婦家族8人のうち、7人は無事に逃げる事が出来ましたが、長男雄季（12

歳）は、就寝中に崩れた壁の下敷きになり尊い命を奪われました。雄季の葬儀には800人もの方々が来て下さり、深い悲しみの中、壱岐市の皆様に深く感謝した次第です。



この災害をきっかけに壱岐に帰省する機会が増え、壱岐を離れて30年、故郷を思う気持ちは一段と強くなっていました。自然に恵まれた壱岐市で、青年たちを育むような環境作りを考えるなど、何らかの形で壱岐市の発展につな

るよう貢献して行きたいと思っています。これからも「壱岐人の誇り」を胸に頑張って参りますので、

「ながさきつや姫」初出荷 壱岐市農協の新ブランド米

高温に強く、高品質で収穫量も向上する——との触れ込みで、壱岐市農協が本年度から本格栽培に着手したブランド米「ながさきつや姫」が初出荷された。8月末には芦辺町で、川崎裕司壱岐市農協組合長、白川博一市長、久村豊彦長崎県壱岐新興局長らが出席して初出荷式が行われた。

「つや姫」は山形県で育成された品種とされ、長崎県では今春、産地品種名柄に指定。地元紙によると、壱岐市農協ではこの品種について「高温耐性に優れ、味はコシヒカリより良い」と評価していると言う。今年は壱岐で88ヘクタールの新作付けし、初出荷式では30トンの新米を出荷したとのこと。

この「つや姫」が今後、壱岐特

どうぞ宜しくお願い申し上げます。
（壱岐市芦辺町箱崎出身・46歳）

産のブランド米として実績を積み、広く普及することが期待される。東京などではこれまでも「壱岐産の米はとても美味しい」との評判を多く聞くが、新たに「つや姫」の登場でその評価が一層高まるようお願いしたいものである。



猿岩

父のふるさと壱岐の魅力に感激 綺麗な海・豊かな自然を満喫！

埼玉県戸田市在住 京崎 宏之



私は壱岐がとても好きです。海がとても綺麗で、自然

も多く、海の幸がとても美味しくて素晴らしい壱岐の島。その壱岐と初めて出会ったのが、私が高校生の頃でした。何も知らないまま私は父親の後に着いて行くように、東京で行われている、壱岐出身者の方達が集う東京雪州会に参加しました。

雪州会通じ壱岐に惹かれ

そこで壱岐の物産品やパンフレットを見て島の豊かさを感じ、東京から壱岐はとても距離がある

にもかかわらず大勢の皆さんが参加されているのに驚き、皆さんの強い郷土愛を感じました。会場で初めて聞く対馬出身の歌手・対馬一誠さんの素晴らしい歌声はとても印象に残っています。父親の故郷である壱岐には是非行ってみたいと思っていましたが、この雪州会への参加を機に私は壱岐島に行きたいとの思いが一層強くなりました。

そして期待に胸をふくらませて父親の里帰りに同行して私も壱岐を訪れることになったのです。壱岐島に向かう途中に私は思わず目を奪われました。なぜならテレビでしか見たことのないエメラルドグリーン色の海と、南国を思わせる白い砂浜は息をのむ美しさでした。波が穏やかで、遠くの方で海水浴をしている人達を見て、期待をふくらませながら壱岐に着きました。

壱岐牛の美味しさも絶品

空気が澄んでいておいしく、都会とは違った空気を感じました。初めて見る壱岐牛の大きさにも驚きましたが、豊かな自然の中で潮風を受けたミネラル豊富な牧草を食べて育つ壱岐牛の肉の味にはもっと驚きました。肉厚で脂がのつていて、とても美味しかったことを覚えています。綺麗な海からは新鮮な魚やウニがあり、ウニは大粒で一口食べるとほんのり甘く潮の香りがして絶品です。

壱岐には観光名所も多く、そっぽを向いた猿にそっくりで気紛れな自然の造形に驚かされる猿岩。壱岐での最高峰・岳の辻展望台では壱岐全島と郷ノ浦の町並みが眺望でき、特に私が訪れた時は空がすっきりと晴れていたのです、海上

に浮かぶ対馬の島影も見えて素晴らしい景色でした。

まだまだ書き切れない壱岐の魅力はありますが、この旅で、綺麗な海、豊かな自然など、壱岐島という島すべてが私の誇りであり自慢になりました。私は壱岐訪問のきっかけとなった東京壱岐雪州会がなければ壱岐の魅力をここまでひきだされなかったと思います。

壱岐が大好きです！

(当会理事京崎昇氏の長男・21歳)

石田町の筒城浜



壱岐は人生の出発点で誇りです 孫の“出産ラッシュ”に幸せ実感

東京壱岐雪州会理事 浅井 恵子



ふるさと
壱岐は私の
人生の出発
点であり、
誇りであり

ます。現在、平成24年9月9日19時56分、三女からの「陣痛ナウ」とのメール。初産に立ち向かう、武者震いにも似た娘の胸中に思いを馳せる。母子の安全を祈りつつ吉報を待つ。

22歳の時、私は千葉県松戸市に嫁ぎ、はや38年…壱岐の島で暮らした18年間より、はるかにほろかに歳月は過ぎ、すっかり「松戸市民」として落ち着いてしまいました。この松戸が故郷となった4人の子供達は順調に成長し、3人

の娘達も順に嫁いでいきました。そして今、娘達はまさに「出産ラッシュ」なのです。5歳を頭に今夜の「陣痛ナウ」で5人目。来年春には次女に通算6人目の孫が誕生します。末っ子の長男も、やがてお嫁さんをもらうでしょうから、楽しい孫の「量産」はまだまだ続きそうです。

毎週、誰かしら、時にはまとまって一緒に来訪し、我が家はことのほか賑わうのです。家族は孫から見て曾じい・ばあ（夫の両親）、じい・ばあ（私たち夫婦）の4人で、足腰の痛みや快い疲れを感じつつも、逞しさみなぎる孫達の遊びの中に交じり、眺め、幸福感に浸りつつ、生命の受け継ぎを実感する

この頃です。そして、この子達の未来に幸多かれと祈るばかりです。

なお9月9日に届いた「陣痛ナウ」のメールですが、翌10日に元気な男の子を無事出産し、母子共に健やかで、ひと安心です。

今年11月には壱岐の島で還暦同窓会が開かれます。準備に忙しい中学・高校の同級生に感謝しつつ、あの友この友の顔を思い浮かべ、今から心弾ませながら楽しみにしています。

（芦辺町箱崎出身）



鬼の足跡

データは語る—ふるさと壱岐は今…（平成24年度）

壱岐の総人口	29,495人（過去最高時 51,765人＝昭和30年代）
内 訳	男性14,046人：女性15,449人
内65歳以上	男女計9,450人（全人口比32.0％＝全国平均23.3％）
壱岐の総世帯数	11,689世帯（＝過去最高世帯数）
壱岐の年間観光数	547,468人（平成23年1月から12月）
壱岐市の年間予算	平成23年度決算（一般会計・歳出） 258億8,592万円
	平成24年度6月補正後予算（一般会計） 202億5,826万円

（注）1. 総人口、人口内訳、65歳以上、総世帯数は平成24年7月末現在

2. このデータは壱岐市役所の協力により東京雪州会が作成

〈趣味あれこれ〉ギター演奏

ギターの師に「目標」の大切さ教わる オーケストラとのコラボを夢見て！

東京荏岐雪州会理事 村井 有

楽器を奏でましょうー

48歳の秋、クラシックギターの師の宅を訪ねました。今度の氏は「目標をもて」といいます。「オーケストラとのコラボと言うのはどうですか。そして「メトロノーム」の購入を勧められました。「音楽はリズムなのです」と。三角錐の台に左右に揺れる振り子のメトロノームを想像します。今ではリズムを刻む器械は多様なものがあります。

名刺サイズのもののは、胸のポケットに入れてイヤホンで音を聞くという小さなものもあります。少し大きなものでは、ハードロック調やボサノバ調など数十種類のリズムを刻んでくれるリズムボックスがあります。リズムを教わる

のは休憩、音を出してはいけない時間です。ペーサーの「運命」は四分音符から始まります。

楽譜を聞くと最初の行にその曲のテンポが示されています。四分音符＝120などと記されています。「1分間に四分音符を120個入れる速さで」という意味です。楽器演奏の練習というのは体育系みたいなものです。最初はこのテンポを60まで挑みます。どんどんとテンポを上げてゆき、最終目標は180です。指はもつれ、汗をびっしょりかきます。

練習時間の確保に苦心 休日1日8時間計画

オーケストラの指揮者は、最初のタクトの上下の振りで、自分の



イメージするテンポを表すと言われます。プロの奏者はそのタクトの一振りを見て、テンポを理解するということです。そこまでは行きませんが、我々も合奏のときにテンポを計ります。リーダーの「ワン・ツウ・スリー・フォー」の声の長短で概ねのテンポを飲み込みます。「シエーの」で始めてはダメなんです。

「練習時間を確保しなさい」と言われました。落語の世界では「練習を1日休むと自分で分る。2日休むと師匠が分る。3日休むとお客さんが分る」と言われているそうです。私は時間がないときでも1日に2時間、休みの日には8時間と計画しています。これが思うに任せない。さあ、始めよう

うと準備をしていると「スナック、赤提灯に居るから来い」と友人から電話が入ります。無碍にはできません。まして晩酌の魅力に打ち克つのは容易ではありません。

最初の演奏会は頭真つ白 指も震えて失敗経験も：

仲間とチームを組んで、演奏会、発表会に登場しました。生来「アガリ症」です。顔は蒼白になり、指は震えます。運指に不安を持っている曲では、すっかりテンポを狂わせ、演奏が途中で止まったこともあります。頭の中が真っ白で、暗証しているはずの曲が浮かばず、演奏が終わるまで何もしないで座っていたこともあります。このときは友人から「バッハの無伴奏曲になりましたね」と揶揄されたものです。

十分な練習を積み技術面を克服して「どういう風に表現しようか」という域に達したいもの。オーケストラとのコラボを夢に、日々精進しましょう。(勝本町出身)

一支国博物館の入館者が30万人突破！ 下期も特別企画展など多彩なイベント

一支国博物館・乃村工藝社広報営業 松嶋 麻美

お蔭様で一支国博物館は、平成24年8月25日に開館（平成22年3月）以来の入館者30万人を達成いたしました。30万人目のお客様は、長崎市にお住まいの田島清志さん（55歳）とご家族です。小学生のお子様の夏休みの課題を見つける旅として、壱岐島を初めて訪れたとのことでした。自然、歴史、食…。壱岐島のあらゆる魅力が、お客様に足を運んで頂くきっかけとなっていることにあらためて気付かされます。

当館では、今年度下期も特別企画展を始めとしたさまざまなイベントを計画し、皆さまのお越しをお待ちしております。特にお薦めする内容をご紹介しますいただきます。

■特別企画展「しま」と芸術祭」

期間…現在開催中 ※11月25日（日）まで

◎壱岐市民絵画・写真展

期間…11月2日（金）から11月25日（日）



「壱岐の歴史的なもの」をテーマ

に市民から寄せられた絵画・写真作品を展示します。

◎国指定重要文化財 石造弥勒如来坐像 里帰り展

期間…11月2日（金）から11月18日（日）

仏師の名前が刻まれた仏像形の経筒としては国内最古となる貴重な資料が、壱岐市郷ノ浦町の鉢形嶺から出土しました。現在は、独立行政法人国立文化財機構

奈良国立博物館に所蔵されていますが、今回特別に期間限定で「里帰り」展示します。

■特別企画展「古代の顔展」

期間…12月14日（金）から平成25年3月10日（日）

古代人は土器や木片に多くの顔を描いています。その「顔」に何を願ったのか、「顔」に込められた思いを感じてみよう。古代人が現代に残したメッセージとは…。

その他にも、講座やワークショップ、体験プログラム、季節イベントなどを計画しておりますので、引き続き博物館運営にご期待下さい。

今後とも、益々のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。最後に、皆様方の益々のご活躍を心よりお祈りいたします。



東京の空に「壱州鬼風」揚がる ハタ揚げに雪州会75人楽しむ

特に年配者にとって風揚げは、

故郷壱岐での幼い頃を思い出す遊びです。今年も長崎ビードロ会（長崎市出身者の関東地区親睦団体）主催のハタ揚げ大会が4月29日、東京・大田区の多摩川河川敷で開かれ、東京壱岐雪州会から75人が参加して新緑のひと時を楽しみました。全体では約1千500人の参加者で大賑わいでした。

当日は快晴で程好い風もあり絶好のハタ揚げ日和。雪州会顧問の蔵方肇さんが今年も丹念に仕上げた自作の「壱州鬼風」など自慢の風を数枚持参。例年通り雪州会の風が今年も最も高く、最も遠くまで飛びました。ひと際大きな壱州鬼風も揚がりましたが、雪州会が参加した平成18年以来初めてで、参加者の目をひきました。子供達の姿も多く、空を舞う風の数も目



雪州会関係者は朝10時過ぎにはほぼ出揃い、河川敷に車座になって壱岐焼酎や自慢の弁当などで歓談。今回も長田玲子、角田貴美子、広田ケイ子、日高恵美子さんらが



それぞれ手作り弁当や氷などを持ち寄って座を盛り上げてくれました。山内賢明さん（東京雪州会名誉会長）も当日早朝便で長崎市から駆けつけたほか、大久保芳勝さんや坂江博見さんから80歳代から小さな子供さんまで多くの会員が参加。このハタ揚げ大会は雪州会会員にとっても初夏の風物詩として根付いてきたように思います。

焼酎片手に交流

また壱岐焼酎を片手に雪州会の垣根を越えて多くの長崎県人同士が交流し「壱岐談義」も弾んだことでした。当日は長崎名物の「蛇踊り」も披露され喝采を浴びたほか、カステラなど長崎特産品も多く即売され終始賑わいました。ビードロ会のご協力に感謝します。



全国綱引選手権 遠山の金さん2勝 20回連続出場に弾み

3月4日に東京・駒沢オリンピック公園体育館で行われた全日本綱引選手権大会に長崎県代表として18年連続出場した〈むぎ焼酎壱岐 遠山の金さん〉チームは6戦中2勝を挙げ健闘した。強豪揃いの全国大会での2勝は大きな収穫で20回連続出場に向けて大きな弾みになるでしょう。

当日は全国代表の男女56チームが参加。東京雪州会を始め長崎県人クラブなどから約1000人の応援団が会場を埋め熱烈に声援。各チームとも6試合戦うが、壱岐チームは初戦から3戦まで3連敗のスタートに応援席もやや重苦しい雰囲気。初戦の相手は過去4回の全国優勝を誇る強豪の佐川急便東京で力の差は歴然。

4戦目でやっと新潟県チームに快勝して1勝するも5戦目は敗れ、残るは1試合。最低2勝は期

待したい選手と応援団にも熱が入る。壱岐チーム優勢が始まり、ひと呼吸を整えるや一気に引き寄せて豪快に勝つ。この最終戦の1勝は「値千金」ともいえる貴重な勝利で次回に期待をつなぐものです。

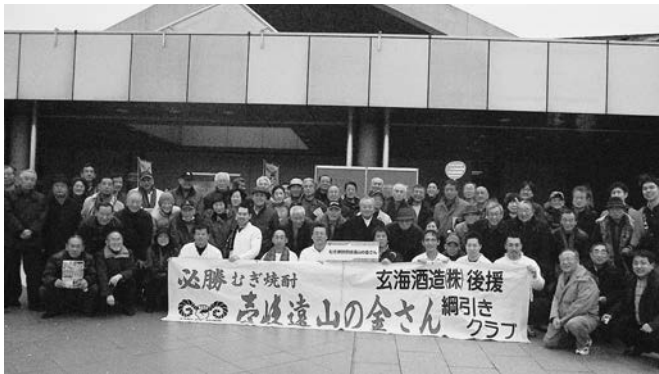
昨年は主力選手の欠場などで未勝利に終わり涙を吞む。しかし今回は決勝リーグ進出こそ逃したものの、まずは善戦健闘といっていでしょう。競技後、応援団は選手を温かく迎え健闘を称えた。

チームを後援している玄海酒造の山内賢明会長は「昨年は1勝も出来ず悔しい思いをしたが今年は2勝できたので、更に力をつけて来年以降20回連続出場に向けて是非4勝、5勝を挙げて決勝に進出したい」と挨拶に力がこもる。

今年はチーム強化に取り組み若手の新人3人を補強したという。

米村誠晃監督は「新人が入ってもすぐ力がつくものではないが2、3年の目標で取り組んでいる」と話す。

新人3選手は試合後の自己紹介でいずれも「来年は自分がチームの選手として頑張る」と異口同音に力強く宣言、先輩選手を刺激した。



玄海酒造の山内昭人社長も「この刺激しあう相乗効果に期待したい」と語る。今後の遠山の金さんチームの更なる成長が楽しみです。

応援団は競技後、都心に繰り出して更に氣勢を上げました。今や「春の風物詩」とも言える綱引き大会に、私達壱岐人の心は一つになるのです。



初山小選手が大舞台で健闘！ 交通安全自転車全国大会出場

沓岐市の小さな小学校が全国大会の晴れ舞台で健闘しました。交通安全徳を守り自転車を安全に乗る技を競う第47回交通安全子供自転車全国大会が8月1日、東京ビッグサイト（国際展示場）で開かれ、長崎県代表として沓岐市立初山小学校の選手（4人）が出場しました。

団体・個人とも上位入賞は果たせませんでした。全国大会での活躍振りは母校を始め沓岐市の小学生や地域の人々にとって大きな励みとなるでしょう。

この大会は全日本交通安全協会と警察庁が主催し、文部科学省、全国連合小学校長会などの後援で昭和41年から毎年開催。47都道府県代表が参加し、初山小は平成2年、3年、6年に次いで今回が18年ぶり4回目の県代表です。

初山小学校はこの子供自転車競

技では沓岐で敵なしの強さといわれますが、全校生徒数わずか38人の小規模学校。8月下旬の県大会で優勝して全国大会へ。選手に同行した江浪俊彦校長は「選手は朝の授業前に学科を勉強し放課後に実技を練習するなど土曜を返上して努力した成果です」と選手の努力をねぎらい、さらにPTA関係者や地域の人々の献身的な応援に感謝の念を込めました。

同校では「目当てに向かって張り抜く子供」がスローガンで、今回はそれを実践した形。競技は選手4人が一人ずつ北海道から順番に、会場内に設けられたコースに沿って自転車を走らせながら障害物や信号などをクリアし、かなり難度の技を要する。初山チームは村部菜月（5年）、長岡みのり（5年）、田中望羽（6年）、山内崇弘（同）訓の順に4選手が競技

（他に2人が補欠）。競技を終えた初山小選手は整列して応援の人達に挨拶。礼儀正しさも1級品です。

当日は選手の保護者ら中心に選手、指導員を含め沓岐から17人が同行。また関東初山会の浦瀬博之



左端が江浪校長

（元会長）、山口義行（同）、長嶋文満現副会長、土谷厚巳氏らが早くから母校の選手に声援。前日には目良春男関東初山会会長や豊永正臣同顧問らも激励。

初山小選手の皆さん、東京の大舞台での体験を踏まえて更に鍛錬を重ね、全国制覇の高い目標に向かって前進してください。小さな学校の、ドでかい夢の実現を期待したいものです。フレイフレイ
初山小学校！

関東初山会の今年度総会

11月25日に開催

関東初山会（目良春男会長）は平成24年度総会を11月25日（日）正午から東京・御茶ノ水駅前（聚楽（昨年と同じ場所））で開きます。事務局では多くの出席を呼びかけています。同会は毎年、この時期に開催しており、会員相互の親睦を図ると同時に、雪州会や東京渡良会などとの交流を深めています。

沓岐高東京同窓会総会 野中光治校長も初参加

沓岐高東京同窓会総会は今回で第21回となり、去る6月23日に霞が関ビルの東海大学交友会館で、

ご来賓に沓岐高等学校の野中光治校長、沓岐高同窓会の江田和夫会長のご出席を賜り盛大に開催しました。会員の出席は50人とそれほど多くはありませんでしたが、お互いに和気あいあいで大変和やかな雰囲気でした。

総会は式次第により約1時間、ご来賓の紹介後、今年4月に赴任されたばかりの野中新校長からご祝辞と最近の沓岐高健児の活動振りが紹介されました。

また、ご祝辞として沓岐市長の白川博一様、沓岐市観光協会会長の長嶋立身様からお手紙を頂戴しました。

役員から平成23年度の活動報告、会計報告、歴代の名誉会長の紹介と代表者による挨拶、最後に

次年度の新役員の紹介があり、和やかな中にも厳粛に議事が進行して終了。

総会終了後は懇親会に移り、江田同窓会会長の祝辞に続いて山内賢明玄海酒造会長から沓岐の近況をお話し戴きました。乾杯の後は沓岐高同窓生の懐かしい顔ぶれの思い出話が尽きることなく、余興と



して同窓生の愛好家クラブのフラダンスが会場を和やかに彩る。またビンゴゲームでは沓岐の名産品が賞品とあって大いに盛り上がりました。最後は沓岐高校歌を全員で声高らかに斉唱して閉会となりました。

暑い時に熱く楽しく賑やかに

第4回沓岐商高関東同窓会開く

暑い暑いとはいいながらも38人が集い、第4回沓岐商高関東同窓会を8月29日、上野のホテルで昼間3時間、開催しました。ご来賓として玄海酒造の山内賢明会長、クラカタ商事の蔵方肇社長、東京沓岐雪州会の牧山康敏会長、同久原順一幹事長の4人の先輩にお越しいただきました。

生の声で先輩にその生き方、先人の知恵をいただく貴重な機会でもあります。ここに改めて沓岐の先輩方に御礼を申し上げます。今年も賑やかに1分間スピーチ「私が主役です」の時間を設け、舞台の主役は私とばかりに、紅白の鉢

ました。今後も関東近郊の沓岐高出身者の交流の場として盛り上げていく同窓会にしていきます。

(沓岐高東京同窓会幹事長 副島清)

巻、リボンのカチューシャでミニ変身して、お互い言いたいことをぶつけて、後は気持ちすっきり。



また今回も副会長の吉野弘一さんが沓岐の各地を巡って撮影したスライド写真を基に「沓岐の鳥検定」を行いました。景色や神社、小中学校などが映し出されましたが、分からないものも多く、沓岐出身なのに知らない沓岐の美と歴史を実感したことです。

今年度の出席人数は38人で出席率46・3%。欠席30人、36%、返信なしが14人、16・8%。83%の人が出欠の意思表示をしたことに

なります。昨年も80%台でしたが、

この当たり前のことが当たり前に出来るという基本的なことが出来ることが、尊いことです。一人ひとりが主役の沓岐商高関東同窓会として、少しずつあせらずに、この会を盛り上げていきたいと思えます。課題も多いですが今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

(沓岐商高関東同窓会会長 高山裕子)

雪州会新副会長に坂井、久原氏 市山恵一氏ら新理事も選任

東京沓岐雪州会は9月24日の定例理事会で役員任期に伴う新役員人事を承認し、決定した。副会長の山口永人氏が退任(顧問に就任)し、新たに副会長に坂井伸州氏(会計兼任)と久原順一氏(幹事長兼任)が就任。前田、山本、吉野の各副会長は留任。

また幹事には広田ケイ子さん

(理事就任)の後任に長嶋文満氏(理事≡関東初山会副会長)が就任した。牧山会長は留任。

さらに新理事として市山恵一、斉藤宗徳、篠崎方哉、柴崎三佐子、土谷厚巳、広田ケイ子、前田茂喜、森山実の各氏が就任した。理事数名が退任。(30面に役員一覧)

第58回東京渡良会総会が楽しく盛大に

故郷渡良の海岸清掃など活動も積極的

平成24年7月15日(日)、猛暑の中、芝公園近くの東京グランドホテルで故郷沓岐から呼び市議、ふるさと渡良会会長徳田佳武氏、中上一義渡良小学校校長、並びに長崎県人クラブ山内賢明理事長、東京沓岐雪州会から牧山康敏会長、久原順一幹事長、竹富鐵一顧問、殿川茂理事、関東初山会から浦瀬、豊永、山口各氏等の多くの来賓の参加を得て、会員相互の温かい絆の結び付きも手伝い、会場満杯の盛況のうちに、高田幹事長の司会で総会、懇親会の幕を開けた。

まず山本紘子会長が本会への多くの参加を歓迎し、謝辞を述べお礼の言葉とした。さらに来賓のご挨拶と続き一連のセレモニーを終了。

さて、元ふるさと渡良会会長の故野田泉氏は凡そ20年前、渡良小

学校チビッツ子バレー選手団会長として引率上京以来、毎年夫婦同伴で参加され、本会の発展伸長に多大なる貢献をされたことは会員挙って知り尽くしているところであり、思いがけない早逝に対し惜別の情禁じがたく痛恨の極みであり、改めて会員一同の誠を捧げご冥福を祈念する次第です。



挨拶する徳田ふさと渡良会会長

本会の本年度の主な事業の第一は、ふるさと渡良会・渡良小学校児童たちの協力参加を得て、渡良のツインビーチ・嫦娥両浜へのクリーンキャンペーンとしてキャラバン隊を編成し、エコ活動の一環として浜に打ち寄せた缶・壺等ゴミの收拾清掃作業に繰り出したこと。第二は、蔵方会長時代から「牧の地域」の緑化対策として松苗（通称抵抗松）を毎年提供して植樹させていただいていることです。

総会も無事終了して懇親会へと進行し、恒例の壺州弁丸出しの渡良会と化していった。余興は玉置

玄海酒造ゴルフ大会に79人参加

梅雨の谷間に雪州会や関東地区焼酎取扱酒販店、長崎県人クラブ関係者ら79人がゴルフに興じました。

玄海酒造主催の第15回ゴルフ大会が7月6日、名門の千葉カントリー倶楽部で開かれ、賑わいまし

慶子さんの奇術や南京玉すだれ等が披露され、盛んな拍手を浴びる。次いで歌手・対馬一誠さんが雪州譜、壺岐ごころ等を熱唱。さらに大杉顧問がステージに上がり、壺岐ごころを一誠さんと一緒に歌い上げ、会場も大いに沸く。この後、司会の終了を告げる合図で蔵方顧問の中締め、塚本副会長の閉会の言葉で幕を閉じた。

参加者は来年の邂逅を念じて、それぞれ2次会や家路へと歩を運んだ。

（東京渡良会 幹事長 高田 英志）

た。今回も壺岐、福岡、関西からの参加者や、大会の常連となった黒江透修氏（プロ野球OB会長・元巨人軍）らも参加。

スタート前、玄海酒造の山内賢明会長は参加者に日頃の協力を感謝すると共に「この大会はこれま



で14回とも雨に降られたことはないので今日も安心してプレーを楽しんで欲しい」と挨拶。梅雨時期だけに天候が気がかりだが、この日も山内会長の「予言」はピッタリ。早朝まで雨だった千葉方面もプレー開始時には止み、まずまずのコンペ日和に一同ひと安心。アマチュアのコンペらしくコースでは右に左に走る人、打ち損ねを悔やむ人。これもご愛嬌で、却って仲間の親睦を深める効果も。プレー後は懇親会及び成績発表

で賑わう。冒頭、同社の山内昭人社長は挨拶で「皆様のご協力で関東地区でのお取引先も増えゴルフ参加者も多くなった」と述べ、焼酎取引関係者やプレー参加者に改めて謝意。

参加者には順位に応じて同社の壺岐焼酎が渡され、成績に関係なく楽しい1日を過ごし懇親の和をさらに広めたことでした。

田原昭二さんが死去

東京壺岐雪州会理事の田原昭二さんが去る7月17日、急性心不全のため都内の病院で逝去されました。85歳。郷ノ浦町出身で軍隊に出征。復員後は長崎県庁勤務を経て東京で弁護士事務所を開業。当会理事としても長期間にわたりご尽力いただきました。茲に謹んでご冥福をお祈りいたします。合掌

壱岐市に寄贈の植樹が順調に成育 住吉神社の桜の下で花見を夢見て

東京壱岐雪州会は平成18年度から植樹を通じて壱岐島の環境保全や自然景観の保護を目的とした植樹寄付を壱岐市に毎年実施しています。これを受けて岳の辻、石田町触れ合い広場、住吉神社境内、梅ノ木ダム周辺などにそれぞれ「壱岐やまざくら」、椿、黒松など



が植樹されています。

特に「さくら」の生育は早く、平成21年1月の植樹以来4年目を迎えた住吉神社の「やまざくら」（約60本）は既に春の開花時期には立派な花を咲かせているということです。

住吉神社の松本弘宮司さんや壱



岐市市林業研究同志会前会長の市岡賢さんらの大変なご協力に負うところが大きいと言えます。

2年前、雪州会のふるさとツアーに参加した諫早の仲間と同神社で「東京雪州会支援事業 壱岐やまざくらの森」を銘記した立派な碑を見て「雪州会の団結と活動は素晴らしいですね」と感嘆したほです。長年、壱岐市林業研究同志会の会長を務め、今年6月に退任し、壱岐市の植樹事業に尽力された市岡さんは「いつも雪州会の温かいご支援には感謝しており、私達が植樹後の管理をするのは当然のことです」と協力の言葉をいただきました。

4 中学に記念植樹も

東京壱岐雪州会や壱岐を訪れた県人会の人からも「是非、住吉神社のさくらの下で神楽の舞を鑑賞しながら花見をしたい」との期待の声が高まっています。実現したいものです。

また昨年は壱岐市立中学校の統

廃合に伴う新生4中学校の発足を記念して「やまざくら」を寄贈しましたが、いずれも順調に伸びているということです。私達は会員の貴重な浄財をふるさとのために少しでも役立てればと考えています。今後とも会員各位並びに壱岐の皆さんのご支援・ご協力をお願いします。

24年度も20万円寄付 壱岐市の緑化対策推進に

東京壱岐雪州会は壱岐市への緑化寄付金として10月28日の雪州会総会の席上、20万円の目録を牧山会長から白川壱岐市長に手渡ししました。特に今回は雪州会創立95周年の記念の年でもあり、18年度から続けている緑化寄付を継続することになりました。

地球温暖化対策が世界規模で大きな課題となっている中で、自然景観に恵まれた緑豊かな壱岐の島の自然を末永く保全しようとの考えに基づくものです。

（牧山康敏）

- 福岡壱岐の会総会（6月10日）＝雪州会から山内名誉会長、牧山会長、山本紘子副会長が参加。白川市長を始め多数が出席し、全体では220人で大盛況。



- 関西壱岐の会総会（6月24日）＝雪州会から山内名誉会長、牧山会長が出席。壱岐からは中原副市長や長嶋観光協会会長ら、更に長崎県下の近畿地区代表ら全体で170人が参加し、歓談の和が広がる。

- 東京渡良会総会（7月15日：芝の東京グランドホテル）＝壱岐から呼子市議、徳田ふるさと渡良会会長、中上渡良小学校長らの来賓や雪州会、初山会などから170人参加。

- 長崎県人クラブ納涼会（7月24日：浜松町貿易センタービル・東京會館）＝山内賢明県人クラブ理事長ら雪州会から10人参加し交流深める。

- 壱岐市立初山小学校「交通安全子供自転車全国大会」出場応援（8月1日：東京ビッグサイト）＝雪州会から牧山会長、関東初山会から浦瀬元会長、長嶋現副会長らが応援。初山小は長崎県代表で今回は18年ぶり4回目の出場で健闘。



- 壱岐商高関東同窓会総会（8月26日：上野・ホテル丸谷）＝山内名誉会長、牧山会長、久原幹事長、蔵方顧問が出席。全体では38人参加で肩肘張らず賑やかな雰囲気。

- 秋季執行役員会（9月4日、芝浦）＝12人全員参加。役員人事、総会対応など活発に協議。

- 秋季理事会（9月24日、東京グランドホテル）＝24年度活動・収支報告、新役員人事を承認決定。役員が協力し95周年記念総会の参加者を増やすことに。

壱岐を詠む 馬場喜代治氏の俳句

- 風の尾の荒縄光る壱岐の風
○鳶舞って曾良の碑の丘風光る
○夏潮の満つ蒼蒼の瀬戸の浦

- 朽ちし家の背戸に雉子鳴く鳥の朝
○稚児の手にふはと乗りたる鳥蛍



トクは勝本出身。庄吉とともに日本に亡命中の孫文を支え、特に生活の面倒や孫文と宋慶齡との結婚の世話などを通じて協力し、孫文に非常に感謝されたといわれます。白川壱岐市長は「今後も壱岐市の新たな魅力として、トクの功績を含め内外に発信したい」と語っています。

孫文は同志とともに中国・清朝を革命で倒すなど中国の近代化に向けて活躍。辛亥革命といわれ、昨年はちょうど辛亥革命100周年に当たり日中両国で記念事業が開かれました。その一環として中国の著名彫刻家が庄吉・トク夫妻の銅像を制作し長崎県に寄贈されたもの。

中国革命の父と称される孫文を物心両面で支えた長崎出身の実業家梅屋庄吉と壱岐出身のトク夫妻の功績を顕彰して中国政府から夫妻の銅像が長崎県に寄贈され、トクの像（写真）が故郷の一支国博物館に設置されました。

一支国博物館に設置 孫文支えた梅屋トク像

東京壱岐雪州会平成24年度の主な活動

(平成23年10月～同24年 9 月)

- 平成23年度雪州会総会・懇親会（10月30日正午、東京プリンスホテル）＝壱岐からの来賓を含め総勢210人が出席。白川壱岐市長に壱岐緑化寄付金、辻川壱岐市校長会長に新生壱岐4中学校発足記念植樹（山桜）寄付金を牧山会長からそれぞれ贈呈。壱岐特産品の即売や福引抽選で大盛況。



壱岐市立4中学校に植樹の目録を渡す牧山会長＝右

- 長崎県人会総会（12月8日夕、東京プリンスホテル）＝雪州会から21人参加、全体では中村県知事に来賓を含め344人。抽選会では壱岐焼酎などで盛り上がる。
- 名誉会長・顧問・執行役員懇談会（1月23日夕、銀座交詢社）＝16人出席。24年度の雪州会創立95周年への対応や会の運営について意見交換。
- 長崎県人クラブ新年会（1月30日夕、赤坂ホテルオークラ）＝山内賢明同クラブ理事長ほか雪州会から10人参加。県下各地区の人たちと活発に交流。
- 国際食品・飲料展（3月6～9日、幕張メッセ）＝世界各地から2600社、壱岐からは玄海酒造など酒造7社が出展。雪州会では牧山会長ら18人が参観した後、会場近くの寿司店で懇親会。
- ビードロ会ハタ揚げ大会（4月29日、大田区緑地公園）＝毎年恒例行事で雪州会から山内名誉会長ら75人参加。今年は50回記念大会で全部で約1500人参加。

今年は特に子供連れが目立つ。長崎名物の蛇踊りなども。

- 全日本綱引選手権＜遠山の金さん むぎ焼酎壱岐＞が18年連続県代表出場（3月4日、駒沢オリンピック公園）＝雪州会、長崎県人クラブなどから100人が応援。

6戦中2勝の成績で20回連続出場に弾みをつけ期待膨らむ。



- 雪州会上期執行役員会（4月24日、新宿歌行灯）＝10人参加。今年度活動方針や95周年記念総会対応を協議。
- 東海壱岐の会総会（5月13日）＝雪州会から山内名誉会長、牧山会長、山本副会長、久原幹事長、坂江顧問ら10人参加。全体では約180人が参加しフラダンスや太鼓、舞踊など多様なアトラクションで賑わう。
- 上期理事会（6月8日、東京グランドホテル）＝40人参加。雪州会の名称変更問題を協議し、95周年を機に「東京壱岐雪州会」に変更することを賛成多数で決定。対外交流などが増えており「壱岐」を挿入することで壱岐出身者の東京（関東）地区の親睦団体であることを鮮明にするのが狙い。
- 壱岐高東京同窓会総会（6月23日：霞が関ビル・東海大学校友会館）＝全体で約50人参加。長田玲子さんらフラダンスも賑やかに。

平成25年度 東京壺岐雪州会の役員一覧

〔執行役員〕				名 誉 会 長	立石 公博
会 長	牧山 康敏			同	森谷 正規
副 会 長	前田 太郎			同	山内 賢明
	同 ※坂井 伸州(会計兼任)	顧 問			坂江 博見
	同 ※久原 順一(幹事長兼任)	同			山内 偉生
	同 山本 紘子	同			大久保祐光
	同 吉野 弘一	同			大杉 一雄
副 幹 事 長	万谷 正	同			柴山 繁
会 計	長田 玲子	同			竹富 鉄一
監 事	長峰 隆徳	同			蔵方 肇
	同 山田 義則	同			※山口 永人
幹 事	※長嶋 文満				

〔理事〕(50音順)	齊藤嘉鶴枝	徳永 光子	堀江 輝男
浅井 恵子	※齊藤 宗徳	殿川 茂	※前田 茂喜
※市山 恵一	※篠崎 方哉	豊永 正臣	三浦 静夫
岩崎 和弘	※柴崎三佐子	中村 福一	深山 祐助
浦川祐次郎	下條 功	長岡 秀星	村井 有
浦瀬 博之	下条 昭二	長嶋 一雄	村上 安弘
浦富 文夫	下条 司	永田 美徳	※森山 実
江口 久義	白石 光男	永本 繁	山内 輝彦
大久保文人	住田 琢彌	野本 一夫	山口 義行
大久保寿雄	高田 英志	野本政次郎	山田 節一
大久保正孝	高山 裕子	野元 宗敏	横山 登
大久保芳勝	竹嶋 商	馬場喜代治	横山 致和
加藤 恒範	田中 忠義	馬場真佐子	米光 信博
川元 忠和	玉置 慶子	日高 克也	※印は新任
神田 仁	塚本 武利	平岡 仁江	
京崎 昇	※土谷 厚巳	※広田ケイ子	
後藤 正彦	寺田 政輝	干田 弘義	

もおーっと知りたい！壱岐牛のこと 全国的に有名な種雄牛は壱岐生れ？

壱岐で生まれた種雄牛は全国的に非常に評価が高く、なかでも「平茂晴」（平成10年3月芦辺町生まれ）は超エリート種雄牛として全国に名を馳せています。10月に佐世保で開催の「第10回全国和牛能力共進会」に出場する壱岐代表牛5頭とも父牛はこの平茂晴です：

壱岐市における和牛の歴史は大変古く、紀元2〜3世紀の初頭と推定される牛骨や牛歯が発見されています。また鎌倉時代末期の日本最古の牛の書物「国牛十図」には、いの一に紹介され『筑紫牛（壱岐牛のこと）に優ぐるものなし』とその素晴らしさを賞賛されています：

壱岐牛は、潮風を受け、海のミネラルをたっぷり含んだ牧草を食べた子牛を壱岐の豊かな自然環境のもとで壱岐独自の配合飼料「一支国」を食べさせ約20ヶ月飼育管

理して育て上げられます。壱岐牛の脂質は「融点が高い」「コクがある」「キレがある」という3つの特徴を持ち、肉は美しい霜降りであり、食感も驚くほど柔らかく、食べると口の中に豊かな味わいが広がると評判です：

和牛と国産牛の違いは？日本で3ヶ月以上飼育された牛はすべて「国産牛」です。和牛は国産牛の中でも日本で生まれて日本で育てられた在来種のことを指します。「黒毛和種」（壱岐牛もこの品種）は国内の和牛の90%以上を占めます：牛の名付けの法則―命名には雄牛は「漢字」、雌牛は「ひらがな」の名前を付けるとう、性別を分かりやすくするための決まり事があります：

（壱岐市の広報誌『いき』9月号より）

重家酒造合名会社

TEL 0920-44-5002

FAX 0920-44-8401

〒811-5214

壱岐市石田町印通寺浦200番地

ホームページ

<http://www.omoyashuzo.com/>

壱岐の島の小さな蔵、重家酒造

（名）。かめで仕込む伝統的な製法を守り続けています。銘柄は雪洲・ちんぐ・村主・筒城・浜・確蔵があり、それぞれ特徴のある味に仕上がっています。



故郷のお土産に

- ・壱岐の銘菓 加寿まき
- ・焼酎入りケーキ

土肥製菓

〒811-5511 壱岐市勝本町仲触471

電話 0920-42-0207

FAX 0920-42-2372



気持ちが落ち着く温もりの故郷
自分の思い出が詰まった郷里
誰もが原点に戻れる島「壱岐」へ



博多から壱岐までジェットフォイルで70分

九州郵船株式会社

(東京事務所) 〒100-0005
千代田区丸の内1-2-1
東京海上日動ビル新館5階
☎ 03-3214-1881

(本社) 〒812-0022
福岡市博多区神屋町1-27
☎ 092-281-0831

発着時刻等の確認はWEBで **九州郵船**

おみやげの店

地元で採れた雲丹を一本一本手詰している、一塩粒
雲丹（壱岐産100%）わかめ・ひじき・アオサ・煮干
等取り揃えています。地方発送も受けます。

(有) 吉田商店

〒811-5135

長崎県壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦174番地

TEL: 0920-47-0020

FAX: 0920-47-0030



<http://www.amagokoro.com>

うに 海産物製造・卸・直売・専門店が
厳選の海の幸をご提供いたします。

あまごころ本舗株式会社

本社 TEL 092-281-6224 〒812-0020 福岡県福岡市博多区対馬小路11-15
東京支社 TEL 03-5820-1788 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-9-2-2F
壱岐支社 TEL 0920-47-4580 〒811-5132 長崎県壱岐市郷ノ浦町東597



神々が宿る島壱岐・古代日本の特別な存在の壱岐

日本神道発祥の地・月読神社
七住吉の一つ、壱岐住吉神社
パワースポット巡りで心を癒す島

壱岐市観光協会
会長 長嶋 立身



〒811-5133 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触683-2
TEL 0920-47-3700 FAX 0920-47-5302

モンドセレクション 11年連続受賞蔵

麦焼酎発祥の地『壱岐』 本格焼酎



松永安左エ門翁
720ml (43度)



壱岐スーパーゴールド
720ml (22度)



壱岐グリーン
720ml (20度)



むぎ焼酎壱岐
1.8L (25度)

むぎ焼酎 **壱岐** 玄海酒造株式会社

取締役会長 山内 賢明 取締役社長 山内 昭人 取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触550-1

TEL.0920-47-0160 FAX.0920-47-0211

www.mugishochu-iki.com

◎お酒は20歳になってから。 ◎お酒は適量を。 ◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう。

壱岐麦焼酎
かめはだか山の守

有限会社 山の守酒造場

取締役会長 山内 賢明 取締役社長 山内 昭人
取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触 85
TEL.0920-47-0301 FAX.0920-47-0384

本
格
焼
酎



25度
1800ml
山の守

◎お酒は20歳になってから。

お酒は20歳になってから

世界の銘酒「壱岐焼酎」

麦焼酎発祥の地が産んだ世界ブランド



壱岐酒造協同組合

理事長 伊豆 平
副理事長 山内 昭人

壱岐の塩

周囲を海で囲まれた美しい島、長崎県壱岐。
人々の生活や自然に昔ながらの風情を残しています。
「壱岐の塩」は壱岐のきらめく海水をくみあげ、
平釜でじっくり煮詰めた手作り塩です。

きらめく海から生まれたこだわりの塩

壱岐の塩・天然にがり

玄界灘の澄みきった海

きらめく海から生まれたこだわりの塩

壱岐の塩

支國の塩

桜



株式会社 なかはら



NAKAHARA

長崎県壱岐市芦辺町箱崎中山触828-1
TEL 0920-45-4888 FAX 0920-45-4560
フリーダイヤル 0120-611-401

株式会社 壱岐の華
代表取締役 長田 浩義



株式会社 壱岐の華

長崎県壱岐市芦辺町諸吉二亦舩1664-1 Tel (0920) 45-0041

本格むぎ焼酎

株式会社 長峰マネジメントオフィス

代表取締役 長峰 隆徳

- 不動産の売買・賃貸の仲介
- アパート建築のコンサルティング
- リフォーム企画、設計、施工
- 有効活用のコンサルティング
- 住宅・アパートの建売事業

〒102-0083 東京都千代田区麹町6-2-6 モバフ四ツ谷麹町4階
TEL : 03-6365-5953 FAX : 03-5215-8864

消防設備（点検・修理・工事・機器販売）

○火災報知設備 ○消火器 ○避難器具
○誘導灯 ○消火設備 ○住宅用火災報知器

昇盈エンジニアリング株式会社

代表取締役 畑津 邦裕

〒135-0015 東京都江東区千石1-13-10
電話03-3647-5911

公正で正確な報道
壱岐の島の情報

壱岐新報

ご購読の申し込み先

〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町片原舩 247-7

(株) 壱岐新報社

TEL・FAX 0920-47-3196

ホームページ <http://ikishinpou.com>

E-mail ikishinpou@oboe.ocn.ne.jp



左京鼻

車にやさしい ノーフラシ洗車場

スフラッシュ自由が丘

世田谷区尾山台3-29

スフラッシュ深大寺

調布市深大寺東町2-12

株式会社 三城洋行

代表取締役 横山 登 〒214-0013 川崎市多摩区登戸新町31-8 TEL044-299-9184

奥壱岐の千年湯

平 山 旅 館

女将 平 山 宏 美

電話 0920-43-0016

<http://www.iki.co.jp>

うまか料理

活きのよか壱州の魚

美味しい壱岐の焼酎

息・抜・き・所

「壱岐」

〒168-0062 東京都杉並区方南2-18-13

もしも 03-5378-2226

丸の内線 方南町駅より徒歩1分

関 東 初 山 会

初山出身者の方、親睦会へのご参加を心よりお待ち申し上げます

会長 目 良 春 男

他 役 員 一 同

事務局 〒151-0072

東京都渋谷区幡ヶ谷2-55-4-502

TEL 03-3376-7854

壱岐とともに58年目

東 京 渡 良 会

会 長 山本 紘子

〒270-1142 千葉県我孫子市泉38-1-101

幹事長 高田英志

TEL & FAX : 04-7139-3862

憩いのオアシス

壱 岐 い き スナック

さくら

JR 蒲田駅西口から5分

〒144-0051

東京都大田区西蒲田7-10-5

電話 03-5711-5923

広田ケイ子

新鮮な刺身やうに、アワビにサザエ、別注で壱州牛のステーキや伊勢海老、島の郷土料理「あらだき」等もご用意しております。今も昔もかわらない島の自然の恵みで、美味しい旬の料理を真心込めておもてなしさせていただきます。

〒811-5316 長崎県壱岐市芦辺町諸吉大石472-12

<http://www.iki-kaneya.com>

関かねや別館

TEL 0920-45-0350

長崎県壱岐の島、癒しとくつろぎの宿



透き通る壱岐の海へGO！ オーシャンビュー客室は早めのご予約を

壱岐の大自然を体験メニューで満喫できる宿

無人島までシーカヤック&シュノーケリングや釣り筏での魚釣りは毎年リピーターも多い。

コテージやキャンプ場もあるので、グループやファミリーに大人気の施設です。

①宿泊料（1人1泊2食）	大人	7,000円	小人	4,600円
②コテージ1棟（定員6名）	1泊	1,500円		
③シーカヤック	大人	3,000円	小人	2,500円

壱岐出会いの村

長崎県壱岐市郷ノ浦町新田触492番地
TEL 0920(46)0789 FAX 0920(46)0141

赤湯天然温泉

国民宿舎

壱岐島荘

11月1日(木) 13:00 リニューアル オープン

「いにしへの赤湯、天然温泉かけ流しの宿」

眺望大浴場より湯ノ本湾の景色がおたのしみいただけます

〒811-5556 長崎県壱岐市勝本町立石西触 101

国民宿舎壱岐島荘 TEL(0920)43-0124 FAX(0920)43-0125

株式会社 壱岐カントリー倶楽部

社長 辻川 更司

〒811-5533 長崎県壱岐市勝本町新城西触1645番地

TEL0920-42-102 FAX0920-42-2274

非鉄金属用フラックスのトップメーカー



株式会社 ファウンテック

代表取締役 万 谷 正

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル

TEL 03-5218-8291 FAX 03-3214-8091

URL <http://www.fountec.co.jp> E-Mail fountec@foutec.co.jp

営業所：東 京 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル

名古屋 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F

大 阪 大阪市淀川区西中島5-2-5 中島第2ビル408

九 州 福岡市博多区博多駅前2-17-15 NPCビル3F

技術部： 静岡県富士市蓼原722-1

工 場：奈 良 奈良県御所市室493

栃 木 栃木県鹿沼市茂呂2611-12

創立95周年機に名称を変更

東京壱岐雪州会は長崎県壱岐市出身者の関東地区における親睦団体です。1917年の創立以来今年で95周年の歴史を刻んでいます。

雪州会としてスタートし、その後、福岡、関西、中部壱岐人会でも一時期「〇〇雪州会」を名乗り、本家の雪州会も「東京」を冠して「東京雪州会」として長く親しまれてきました。ただ東京以外は「雪州会」を外して「〇〇壱岐の会」に変更しています。

雪州会の対外活動も年々盛んになってきましたが、「東京雪州会」では壱岐出身者の親睦団体であることが直ぐには伝わりません。そこでほぼ1年にわたり検討し、95周年を機に名称に「壱岐」を明示し、ふるさと壱岐もPRすることになりました。同時に創立以来使用している伝統ある「雪州会」の名は残したわけです。

玄界灘に位置する壱岐の島は「古事記」の時代から大八州（おおやしま）の一つに数えられ、日本書紀では「壱岐の州」または「壱岐の島」と表記し、いずれも「ゆきのしま」と読まれているそうです。和名抄には「由紀の島」とも書かれ、万葉集には「由吉の島」、姓氏録では「壱妓」と記されていると伝えられています。

「雪州会」の名称の由来は諸説ありますが、こうした古書による島の読み方に由来しているとの見方もあります。由緒ある雪州会の名を引き継ぎ、自然豊かな歴史とロマンの島「壱岐」をバックボーンにして会の一層の発展を期したいと思っています。

〈故郷に誇りを 未来に夢を〉

◆「雪州会だより」特集号をお届けします。

▽：雪州会は今年創立95周年を迎え、「雪州会だより」第40号は特集号としました。この機会に名称を「東京壱岐雪州会」に変更し、伝統の上に新たな一歩を踏み出しました。「壱岐」を名称に明示することで東京における親睦団体の位置づけを明確にしたわけです。

▽：95周年に当たり中村県知事、白川壱岐市長、各地区壱岐人会長など多くの方々に激励のメッセージを頂戴し、改めて歴史と伝統の重みを痛感している次第です。御礼申し上げます。

▽：これも先人の風雪を超えたご尽力と会員各位のご支援の賜であります。私達はこれを更に次代に引き継ぐ使命を帯びています。幸い若い人達も自らの道を切り拓きながら雪州会にも積極的に参加していただいております、心強い限りです。

▽：今回も多くの方にご寄稿や広告のご協賛をいただきました。感謝申し上げます。雪州会は皆さんと共にあり、更なる発展に向けて力を合わせて力強く歩を進めていきます。ふるさとの野山もやがて冬支度に入る頃でしょうか。

（牧山康敏）

雪州会だより・第40号／平成24年10月発行／制作・東京壱岐雪州会

発行所・〒213-0023 神奈川県川崎市高津区子母口54-114

東京壱岐雪州会事務局 Tel/Fax 044(798)2348

URL:<http://www.sesshuukai.com/>

今 混迷の時代を拓く指標は何か――

発刊13周年

週刊 講演CD・カセット

POWER LECTURE パワー レクチャー

週刊講演CD・カセット パワーレクチャーは、各界の著名講師が弊社講演収録スタジオで行う
80分の本格的な講演を、毎週1回、会員のお手元へ直接お届けする新情報源です。
テーマは経済、産業、国際情勢、政治、経営、テクノロジー、文化など幅広い分野にわたります。

代表取締役 立石公博

―― 激動の時代を読み抜く情報源 ――

講演の 暦 日 会
株 式 会 社 REKI JITSU KAI

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-16 京橋立石ビル
TEL.03-3517-1211 FAX.03-3272-1781
<http://www.rekijitsukai.co.jp/>

～宇宙の技術を暮らしの中へ～

特殊セラミックを塗料化
省エネ・断熱のプロフェッショナル

断熱塗装材 「ガイナ」



ガイナを塗るだけで、夏は涼しく、冬は暖かに

総合ビルメンテナンス



株式会社 クラカタ商事

代表取締役 蔵方 肇

URL: <http://www.kurakata.co.jp>

〒144-0031 東京都大田区東蒲田2-6-16 TEL 03-5744-7224 / FAX 03-5711-5656

私たちレオパレス21は ひとと住まいにまつわる トータルサポート企業です。

国内ホテル事業
豊かな暮らしを
満喫する

シルバー事業
シニアライフを送る

レオパレス21

建築請負事業
土地を活かす

リゾート事業
豊かな暮らしを
満喫する

賃貸事業
賃貸に住む